

長期モニタリング計画の見直しについて（エゾシカ関係）

【現状】

知床世界自然遺産地域長期モニタリング計画において、エゾシカに関する項目は以下の 12 項目。

No.	モニタリング項目
7	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査（林野庁 1 ha 囲い区内外）
8	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査（環境省知床岬囲い区内外）
9	密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査
10	エゾシカによる影響の把握に資する広域植生調査
11	シレットコスミレの定期的な生育・分布状況調査
12	エゾシカ越冬群の広域航空カウント
13	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況(外来種侵入状況調査含む)
14	陸生鳥類生息状況調査
15	中小大型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)
16	広域植生図の作成
⑪	エゾシカ主要越冬地における地上カウント調査（哺乳類の生息状況調査を含む）
⑫	エゾシカ間引き個体、自然死個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査

【中間総括評価】

2017（平成 29）年度に実施した中間総括評価において、これまでのモニタリング結果の整理及び評価を行うとともに、今後の方針を確定した。

※中間総括評価の詳細は、参考資料 4（p. 2～55）のとおり。

【モニタリング項目の見直しの方向性（案）】

中間総括評価を踏まえ、モニタリング項目の統廃合、評価項目の変更及び評価者（評価担当）の変更等について、次頁の通り方向性（案）を作成した。

<議論のポイント>

- ✓ モニタリング項目の統廃合、評価項目の変更等の考え方について
- ✓ 複数の項目を統合して設定する新たなモニタリング項目（新 No. 7、No. 12）の評価方法について
- ✓ 新たなモニタリング項目の評価基準や評価指標、モニタリング手法等を検討・設定するための考え方について（第 2 回 WG に向けた議論）